第七回御前會議要綱原案ノ概況

一、午前十時三十分開會別紙次第書ノ如ク議事進行シ午後三時十五分閉會此ノ間午後零時三十分ヨリ同一時三十分迄休憩アリ

二、原樞府議長トノ質疑應答ノ概要左ノ如シ

樞　相　本日ノ御前會議ノ議題ハ九月六日ノ御前會議決定ノ延長テアリ其ノ實行テアル

九月六日ノ決定ハ第一ニ日米交渉ノ進展ニ關スルコトテアツタカ之カ妥結ヲ見サルハ遺憾ナリ。交渉ノ內容ニ就テハ予ハ全然承知シアラス。本日故ニ提示サレタル此ノ文書タケテハ分ラス。先ツ以テドウユウ點カ本案ノ成立前迄ニ出來タカト云フコトヲ外相ニ伺ヒ度イ

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

外相　日米交渉ハ四月ニ妥案アリ。其後六月二十一日ノ修正案カ出来タ。其内容ハ各国ノ資例ニ見サル文字ヲ使用シアリテ、普通ノ條約ト異ナル所多ケアリ。故ニ詳細ハ省略スルカ……

極相　外交上ノ技術ハ除外シテドウユウ點カ重要ナルトウユウ點ハハッキリ聞合カツイタカツカスカ其重要ヲ知リ度

外相　通論的ノコトハ略ス

ノ武器戦争ニ関スル所国ノ態度ニ関シ

現大陸上ノ點ハ大体一致シアリ。尚之レニ就キ米ハ

国交極トシテ飽ニ対シ武力ヲ発動シ、日本ニ対シテ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ハ太平洋方面ニ武力行使ヲセサルコトノ約束ヲ指望シアルカ如シ

2.日支間ノ和平問題ニ關シ

本件ニ就テハ陸兵撤兵問題ニ於テ一致セス。日本ハ所要地域ニ所要ノ期間駐兵スルノテアル。其他ハ某條件ノ下ニ某期間内ニ撤兵スルノテアル。然ルニ米側ハ全面撤兵ノ聲明ヲナスヘシト主張シ、我ハ之ニ應セサレス

3.太平洋地域ニ於ケル兩國ノ活動ニ關シテハ米側トシテハ支那ヲモ含メテ太平洋全体ニ於ケル無差別通商ヲ要求スルニ對シ、日本トシテハ支那ニ於ケル資源

陸軍

315

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

獲得等ノコトモアリ無條件ニハ受入レラレス。而シテ米側ハ本原則ハ世界一般ニ行ハルヘキモノトナシアルカ故ニ、之ヲ出来ルナラト云フ前提ヲ置キ始メテ居ル

(4)太平洋政治問題ハ双方共ニ武力進出ヲセサルコトニシアリ。之ニ就テハ佛印ノ進駐カ問題トアツテ、之レハ別ヘツキアラス

以上ハ日米間交渉ノ大体ナリ

(5)外相ハ前内閣時代ノコトニツキ不明ノコトモアルヘキカ故ニ線引トシテ補足ス

十月三日ニ受取ツタ米側ノ回答ハ、要スルニ原則(1)乃

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

土保全主權尊重(2)內政干渉(3)無差別通商(4)武力的威嚇打破不承認）ヲ日本ニ要求セントス。門原則ハ九ケ國條約ノ集約テアル。(1)ヲ容認セハ支那事變ハ國ヨリ諸國ヲ除認シアラサルカ故ニ之レ逸脱レテ來ル。(2)ヲ認ムレハ支那南京政府トノ取極例ヘハ通商通信等ノ日華間ノ條約等モ廢サレル危險性アリ。(3)ハ一般通念トシテハ當然ト見ラレルカ如キモノハ帝國ノ自存自衛ニ關レテ來ルナラハ之ヲ酌スコトハ出來ス。英米ダッテソウダ。之ニ依リ日支信約第六條ノ解釋施行ノ權利ヲ要更セシメラレルコトニナル。(4)ニ就テハ南西太平洋テハマー國メテモコイト黒ウカ支那ノ如キ國防上故資源

No. 316

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ノ獲得上緊要ナル地域ハ「ケラレス」。米ハ之ヲ認メ日
ト云フノデアル。日本ハ之ヲ認メ得ス。何ントナレハ
滿洲事變及支那事變ハ本主旨ニ基ク滿洲ヲ說スル爲ニ
ヤツテ來タノダ。新外相就任ノ如キハ此緊要ヲ認ムル
コトハ大變タト云フテ居ル。貴内閣ハ日米交渉委給ノ
爲ニ論ルヘカラサルヲ論テ來タノデアル。十月二日ノ
米提案ハ言辭ハ美ナルモ其精神及程度ニハ變化ナク一
歩モ譲ラス。唯日本ニ對シテハ緊要シアルノミナリ
眞具体的ノ重要點ハ何處カト云ヘハ、外相ノ述ヘタ如
ク(一)歐洲戰爭程度ニ對シ後ハ「日本ノ程度ヲ多トス」且
附加シテ「――――日本側カ更ニ檢討スルナラハ更ニ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

有益ナルヘシ」即チ日本ノ三國條約ノ態度ヲ明ニセヨト」ノ注文ナリ。(二)四原則ノ容認ト局地的適用ハ重大問題ナリ。(三)更ニ重大問題ハ駐兵撤兵ノ問題ナリ。彼ノ云フノハ撤兵本位デ之ヲ中外ニ宣明シ、駐兵ハ藤ノ約束デハトノコトナリ。惟フニ撤兵ハ退却ナリ。百萬ノ大兵ヲ出シ、十數万ノ戰死者遺家族、負傷者、四年間ノ艱苦、數百億ノ國帑ヲ費シタリ。此ノ結果ハドウシテモ之ヲ結實セサルヘカラス。若シ日支條約ニアル駐兵ヲヤメレハ撤兵ノ要日ヨリ事變前ノ支那ヨリ惡クナル。滿洲朝鮮台灣ノ統治ニ及フニ至ルヘシ。駐兵ニヨリ結メテ日本ノ發展ヲ期スルコトヲ得ルノデアル。之

陸軍

GE 317

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

レハ米側トシテハ重マサルトコロナリ。而シテ帝國ノ
言フテ居ル駐兵ニハ萬々新聞サル所ナシ
開國五百會議ニ就テハ、米側トシテハ大キナ問題ニ關
シ新カツイテカラヤラウテハナイカ、日本ハ大筋ヲ草
案テキメ様テハナイカラトテ意見一致セス

松岡 唯今ノ說明テ甲案乙案ノ內容ニ就テ予備知識ヲ得タ。
以下細部ニ就キ質問スヘシ
駐兵問題ノ(ロ)「平和解決條件中ニ之ヲ包含セシムルコ
トニ異議ヲ有シ」トハ日支和平條約中ニ駐兵ヲ入レル
コトハ不可ト云フノカ

樞密院 然リ。ツマリ撤兵年位主義テアリ、條件中ニ駐兵ヲ入

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

レルコトハ不同意ナノデアル

樞相 義兵ヲ嘗イテ匪兵ハ支那ト謂セヨト云フノカ

總理 米側トシテハ匪兵ハ臨ノモノトシテ支那ト謂シロト云フ位ニ考ヘテ居ルラシイ

樞相 南京ト結ンデアル條約ハ米ハ知ツテ居ルト思フノダカ

米ハ知ラナイテ日本ニ雲ツテ來テ居ルカ、ソレトモ知ツテ日本ヲ妨害スル積リカ

總理 予ノ判斷トシテハ米ハ知ツテ居ルト思フ。匪米ノ間ハ宋子文等カ運動シアレハナリ。先年桐工作ノ場合ノヨトニ似ミルモ此ノ二人ハ知ツテ居タ

樞相 (三)ノ條約制定前開戰ノ九月二十五日案ニテ到底受納ノ

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

見込ナキ場合トハ

外相　九月二十五日案ニハ支那ヲ包含シアラス。日本ノ特殊関係ニ鑑ミ支那ヲ包含サセルノハ困ル、蓋カ米側トシテハ譲歩セス。ソコデ最後案トシテ勢力別カ全世界ニ適用セラルルト云フ條件ノモノトニ御メヨウトスルノデアル

総相　四ノ五国條約問題ニ關シ米ハ自衛權ニツキ勝手タ。故ニ「自衛權ノ解釋ヲ広リニ拡大シ」トアル意義如何

外相　案文ハ要ナ所モアルカソレハ米國ノ態度ニ關スルコトデアル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

極相　乙案ノ第三項ノ資金凍結前ノ狀態ニ復歸ストアルカ、資金凍結前ニ出シタモノハドウナルカ

外相　資金凍結令ノ發布ノ理由ニ就テハ日本ノ佛印出兵カ直接ノ原因トナリアリ。之レハ事變前ノ狀態ニ持ツテ行クノヨロシイノデアツテ、日本トシテハ通商條約廢棄前ニ復スルノカ希望タカ、不取敢緩和スルノカヨカロウト思フ。備考ノニ在ルカ如ク條件付ナル故、米トシテモ十分ノ滿足ヲ得ラレヌノデ一先ツ資金凍結前迄ニ進ムト云フコトニシ、此ノコトカ出來タ後各種ニ亘リ對米交渉ヲヤラウト考ヘテ居ル。唯石油ニ就テハ凍結令前カラ出サヌコトニナツテ居タノデ、凍結前ノ量デサ

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ク、日本カ欲スル量ヲ取ルコトニ約束シ度イ

樞相 米國カ通商ノ制限ヲ加ヘタノハ支那事變ノ結果デアル。東綿令ハ佛印進駐ニヨル。然ルニ日支事變ノ解決ハヤリタイノタカラ此ノ際支那事變ヲ含メテ米ト交渉解決スヘキモノデアルト思フ。本案ノ程度デハ要求カ低クハナイカ。尙甲、乙案デヤリ然ル後他ノ問題ヲヤルト云フノデアルカ、米側ノ本案ニ對スル態度ノ見込ハ如何

外相 乙案ノ第三項ニアル樣ナコトニナツタ當方ノ心持ヲ申上ケル。御說ノ如ク通商條約廢棄前迄一擧ニ復歸スルノハ希望スル所ナルカ、米側カ應セヌ場合ハ戰爭ト雲

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

フ一大事トナル故ニ、謀リ得ル限度デヤリ、之レサヘ
キカナイノナラハ米ハ戦争ヲヤル積リタト云フコトモ
分リ内外ニ對シ公明ナル大義名分モ立ツ。街盆休ニ就
テ質問カアツタカ、甲案ヲ以テシテハ急遽ニ間カ出來
ルコトハ見込カツキ兼ネル。乙案ニ就テモ間ハツキ兼
ネルト思フ。例ヘハ佛印ニ撤兵ノコトデアル。又第四
ノ支那問題ニ就テモ米ハ從來承知セヌコトナノデ兼問
シナイノデハナイカト思フ。尚御考ノ2ニ就テモ米側
ハ日本ノ履行ヲ求メテ居ル際ナル故中々承諾セヌト思
フ。唯日本ノ自分ハ滿洲トハ思ハヌ、米カ太平洋ノ平
和ヲ重ムナラハ、又日本ニ決意アルコトカ反映スレハ

Gc 320

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

米モ考フル所アルヘシト思フ。唯米ニ對シ日本ヨリ武力デ脅迫スルト云フコトニナルカラ反撥スルコトニナラントモ限ラヌ。又時間ノ關係ハ短イノデアル。御決定後ニ調電シテ交渉スルノデアツテ、十一月中ト云フコトデアル故交渉スル時間ニ二週間デアル。之レモ他方面ノ必要カラシテ已ムヲ得ヌ。從ツテ交渉トシテハ成功ヲ期待スルコトハ少イ。蓋シハ難イト考ヘテ居ル。唯外相トシテハ會合ノ努力ヲ盡スヘク考ヘテ居ル。進捗ナカラ交渉ノ成立ハ蓋シ難デアリマス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

総　相　日米交渉カ破裂シタ場合ノコトニツキ兩統帥部ヨリ概

略的ニ分ル範圍テ説明ヲ願フ。南方作戰ト云フテ戰場

ハ机上ノ圖面カ全部テアルカ、作戰範圍作戰進渉ノ見

込如何

參謀總長　此度ノ作戰ノ目標ハ「ガム」、香港英領馬來、「ビルマ」、

英領「ボルネオ」、蘭領「ボルネオ」、「スマトラ」、「セ

レベス」、「ビスマーク」諸島其西南方ノ小島ノ統治

基地テアリマス。之等地域ノ兵力ハ二十數万飛行機

八〇〇、英領印度、蘭領、新西蘭カアリマスカ某時機ニ

ハ參加シテ來ルト思フ。此情況下ニ於テ海軍ト協同

シテ作戰スルノテアツテ重點ハ馬來比島テアリマス。

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

本作戦ハ馬来ト比島ニ同時作戦デアリマシテ、次ニ蘭印ニ移ルノデアリマス。此ノ考ノ下ニ比島ハ五〇日ノ間上約五ケ月デ解決セントスルモノデアリマス

馬来ハ100日前印作戦ハ約1ケ月

然シ米国艦隊ノ来攻アリシ場合、海軍力之ニ向フ場合、又公算ハ少シトスルモ北方ニ於テ米「ソ」ノ起ツ場合ニハ此ノ時日ハ多少延ビルト思フ。前シ重要軍事根據タル香港、「マニラ」、新嘉坡ヲ押サヘ、更ニ蘭印ノ要衝ヲ押サヘレハ長期戦ニ堪ヘ得ルト存シテ居リマス

総　相　国内ニハ印度洋洲ヲ除イテアル。ソウシテ此ノ地域ハ兵力三十数万飛行機百千ト云フ事デアルカ、軍艦モア

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ル。此ノ艦隊ヲ短期ニ撃破シ得ルカ

軍令部総長　米ノ艦隊ヲ一〇トシ日本ハ七、五アル。米ノ艦隊ハ四割ハ太西洋ニ、六割ハ太平洋ニアリ。英ハ非常ニ大キナモノデ来ルコトハ出来ヌト思フ。戦艦一万噸十数隻航空若干ト思フ。戦サノヤリ方トシテハ米カ大西洋ヲ引キ上ケテ来攻スル場合相當ノ日数ヲ要ス。但日本カ南方作戦中一部カ之ヲ邪魔ヲスルト思フカ、決戦スルニハ少シ兵力足ラヌ。従テ大西洋兵力ヲ撃滅セサルヘカラス。英国トシテハ新嘉坡ヲ取ラレテハ困ルカラ英ノ一部カ来ルカモ知レヌ。此場合英米場合デ来ル時ノ場合モアリ。日本海軍トシテ之ニ対スルヤリ

322

陸軍

0651

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

方ハ蔣ヲカ計畫ハ有スル。英米連合ニハ駐留アリ。故ニ之ニ對シ成算アリ。彼カ決戰ヲ望ムナラハ撃滅スルヲ得。撃滅ハスルカトニカタ南洋作戰後長期トナルヘシ

樞相 參謀總長ノ述ヘタ所テハ五十日、百日ト云フコトテアルカ、現在南洋ニ居ル敵艦隊ニ對處スルニアラサレハ上陸作戰ハ出來ナイト思フカ此點ハ如何

軍令部總長 敵ノ艦隊中我艦隊ノ近クニ行動スル水上艦隊ハ一時遮斷スルト思フ。南洋作戰中撃滅シ得レハ撃滅シ、撃滅シ得サルトモ大シタコトハナカルヘシ。唯潜水艦ノ如キハ制壓シヨウト思フ。太平洋ニ現存スル敵艦隊

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ノ制壓ハ六ケシクナイト思フ

極相　「ソ」聯ニ就テ伺ヒマスカ、南洋ノ大部ハ百日位ニ占領スルトノ事ナルカ予想ニ反スルヲ一般ノ狀態トス。日露戰爭ノ旅順ノ攻略モ三十七年ノ夏期ニハ出來ルトノコトナリシカ翌年一月一日ニ開城トナツタ。又滿「ソ」戰ニ於ケル滿洲ノ計畫モ然リタ。我國ノ統帥部ノ計畫ハ遙算ナカラント思フカ、長ビイテ「ソ」聯カ立ツタ場合ニハ南方ノ兵力ヲ引キヌクノカ。又支那方面ハドウナルカ此ノ點ヲ念ノ爲伺ヒ度イ

參謀總長　「ソ」ハ春ノ間ハ大作戰ハヤリニクイ。又「ソ」現在ノ狀態カラ見テモ立チ得ル公算ハ少イト思フ。米「ソ」

323

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

繼續シテモ各ノ間ニ大仕事ハ出來ヌ。萬一アリトスルモ「ソ」トシテハ単獨的ノ策動位ニ止マルナルヘシ。之ニ對シテハ各ニ應シ得ル準備ニアリ

吾人ノ最モ心配シテ居ルノハ爾來一〇〇日間即五ヶ月ト考ヘテ居ルカ、之レカ長引イタ時米「ソ」聯合ノ場合カ危險デアル。之ニ對シテハ内地ニ現存スル兵團安那ヨリ轉用スル兵力ヲ以テ善處シ得ルト思フ

極相　「ソ」聯カスグ來ナイダラウト云フコトハ明瞭タト思フ。米「ソ」聯合ノコトモ御說ノ通リト存ス。尙何ヒ度イコトハ「ソ」聯海軍ノ蠢動故南洋現存ノ敵艦隊ノ爲海洋上ノ通商航海カ妨害セラレルコトハ無覺シテ可

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ナリヤ。「ソ」聯ノ妨害及南洋ノ敵艦ノ爲ニ物資輸送等ニ影響ナキモノト考ヘテ可ナリヤ

軍令部總長　南洋作戰中ニ「ソ」聯カ立テ潛水艦カ活動スルト日本海軍ハ南洋ニ使ツテ居ルノテ「ソ」ニ對シテ十分ナル兵力ヲ向ケルコトハ出來マセン。努メテ守勢ヲ以テ之ニ對抗シ、南洋作戰進捗ニ伴ヒ之ニ對應シ且積極的ニ行動スル積リナリ。而シテ南洋テハ敵ノ軍艦潛水艦航空隊アリ。因テ作戰スル以上ハ相當ノ損害ヲ受ケルコトハ覚悟ノ前ナリ。而シテ南方作戰ハ主テアルカラ之ニ力ヲ注ク。從テ相當ノ損害ヲ予想シテアリ。就中ナトハ三分ノ一乃至三分ノ一ノ損害アルナラン。從テ

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

商船モ相當損害アルヘシ。然シ乍ラ海上ノ交通ハ日本ノ生命ニ關スルカラ保護ノ方法ハ手段ヲ盡スカ被害ハ年ニ相當アルト思フ。之ヲ防禦シ增補スルトシテ日本ノ海運ニハ致命ナシト思フ

[illegible]

樞相 「ソ」ノ艦隊英米間ノ海軍ヨリ防害ヲ受ケテモ日本ノ物資ハ絶対ナイト了解シテヨイカ

[illegible]

企畫院總裁 船舶ノ損害ハ陸海軍デ研究ノ結果ナリ

[illegible]

樞相 進行要領ノ一ノ問ニ泰トノ間ニ武力發動ノ直前云々トアルカ直前デハ泰ニ對シテ相談ニハナリ相ニモナイカ、此點ハドウ考ヘアリヤ。若シ交渉ニ時日ヲ與ヘル樣ニスルト之ハ英國ニ分ル。然ルトキハ統帥部ノ企圖カ敵

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

側ニ分ル。直前トハドウユウコトカ。若シ强行スルノナラ樹立スルテハナク强行タ。此ノヤリ方ハ將來ノ對泰關係ニ影響スル

總理　本件ハ外交軍事緊密ナル關係ニアルカラ私カラ答ヘル

南佛印進駐時カラ既ニ泰ヲ抱キ込ム考ヘテ、軍事的緊密關係ヲ作ルヘク「ピブン」ニ工作ヲシテ居ル。目下御説ノ通リ機微ナルモノカアル。作戰上ノ必要カラスレハ泰國ニ上陸スルノ要カアル。之ヲ遽早ニ知ラシメルコトハ不可タ。ソコテ直前ニ云ッテキカナケレハ力ヲ加ヘテ行クヨリ仕方ナシ

樞相　泰トノ關係ハ「樹立ス」トノ説シ方テ誤ニナッテ居ル

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

カハ、實行ノ事實ハ總理ノ云フ通リ强行タト認ム。ソコテ政府及統帥部ヨリ承ツタ經過テハ何等意見ナシ。何等資料ナケレハナリ

日米交渉成立シ難マシカラサルナリ。二千六百年ノ皇室ヲ戴ク國民ナルカ故ニ一心トナツテ今日迄四ケ年コタヘテ來テ居ル。其ノ如キハ既ニ厭戰ノ氣アルカ如シ。滿洲ノ如キモドウカト思フ。伊國ノ如キモ反戰運動モアルカ如シ。我國ニ於テハ皇室ヲ戴ク國体ニ滿足スル結果ナリト思フ。サレハトテ國民トシテハ速ニ支那事變ヲ解決シ度イ。之カ見込ツカズニ大國タル米國ト戰爭スルト云フコトハ爲政者トシテハ考ヘナクテハナラヌ。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

前回ノ御前會議デ交渉シテモ出來ヌナラ戰サトナルノダト云フノデアツタ。本日ノ御説明ニヨルト前回ト今日ト米國ノ態度ハ何等變化ナク、今日ハ却ツテ益ミ横暴ヲ極メテ居ル。從テ本交渉モ望ミ薄ト見テ甚タ遺憾ニ存ス。然シ乍ラ米ノ云フコトヲ其儘ニ受ケ入レルコトハ國内事情カラ見テモ亦國ノ自存カラ見テモ不可デアツテ日本ノ立場ハ之ヲ固守セネバナラヌ。承レハ日支問題カ交渉ノ重點デ恰モ米ハ重慶ノ代辯ナルヤノ感アリ。蓋カ米ノ力ヲ頼ミテ日本ト交渉スルトスレハ到底二、三月デ出來ルトハ思ハヌ。日本ノ決意ヲ見テ困スレハ結構タカ然シ絶望ト思フ。甚タ已ムコトヲ得ス

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ト思フ。然ラハトテ此儘ニ行クコトハ出來ヌ。今ヲ措イテ戰機ヲ逸シテハ米ノ頑使ニ屈スルモ已ムナイコトニナル。從テ米ニ對シ開戰ノ決意ヲスルモ已ムナキモノト認ム。初期作戰ハヨイノデアルカ、先キニナルト困難モ增スカ何シトカ見込アルト云フノデ之ニ信頼ス。此ノ際政府當局ニ一言スレハ、日米英戰フト云フコトハ支那事變モ其一ツノ原因タカ他ノ一ツハ獨英戰トノ關係カラデアル。支那丈ケナラコトハナラサカツタト思フ。然ルニ獨英戰ノ結果茲ニ至ツタ。茲ニ準記スヘキハ白人トシテ、日本カ參戰シタ場合獨英獨米ノ關係カ果シテドウナルカ。「ヒトラー」モ日本人ヲ二流人

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

種タト云フテ居ル様ナ次第デ、獨トシテハ米ニ對シテ直接戦ヲ宣シテ居ラヌ。日本ハ實行ニヨリテ米國ヲタタク、此場合米國民ノ心理ハ對獨態度ニ同一デアラウカ、「ヒトラー」ヲ憎ムヨリ日本ニ對スル憤慨ハ大ナルヘシ。在米獨人ハ米獨ノ平和ヲ招來セシメント考ヘアリ。ソコテ日本カ米ト戦サヲヤリ出スト獨英獨米間ノ話カツキ、日本丈ケ取リ殘サレルコトニナルコトヲ悲レル。即黄色人種ヲ憎ム心カ獨逸ヨリ日本ニ轉用サレ、英獨戦爭カ日本ニ向ケラレル結果トナルコトヲ覺悟セサルヘカラス。米トノ交渉ハ成立セス。然シ日本ノ自衛上對米英戦爭モ已ムヲ得ナイカ、人種的關係ヲ

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

深ク考慮シ、「アリアン」人種全体ヨリ包圍サレ日本帝國潰リ取リ殘サレヌ様ニ警戒ヲ怠ラス、今ヨリ獨伊トノ間ノ關係ヲ強化セヨ。紙上ノ約束ハ駄目デアル。「ヒトラー」ヨリモ日本信シト云フコトニナリ名實共ニフクロタタキニナラヌ様ニ、此點ニツキ當局者ニ注意ヲ喚起シ今後ノ國際情勢ニ善處サルルコトヲ切望ス

總理

極府議長ノ御說ハ御尤モナリ。政府ハ前會議以來何トカシテ日米交渉ヲ打開シタイ切ナル希望ハ捨テマセヌ。統帥カラスレハ交渉殆ト見込ナシトノコトナル故一途ニ作戰ニ入ルノカ當然デアル。然シ何トカ交渉打開ノ途アレハト思フテ、作戰ノ不自由ヲ忍ンデモヤロウト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

シタ。是レ外交ト作戦ノ二本建トシタノデアル。若干ハ見込アリ。日米交渉ニ米カ乗ツテ来タノハ期待カアルカラデアル。即チ(1)南洋作戦準備未完(2)国内体制ノ強化未完(3)国防資源ノ不足(一年位シカナシ)等デアル。此案ニ依ツテ兵力カ展開位置ニツクコトニ依リ日本ノ決意ハ分ル。彼ハ元来日本ハ経済的降伏スルト思ツテ居ルノデアラウカ、日本カ決意シタト認メレハ、其時機コソ外交的ノ手段ヲ打ツヘキ時タト思フ。私ハ此ノ方法ダケカ残ツテ居ルト思フ。之レカ本案ナリ。之カ軍機長ノ申サレタ外交デ行クト云フ最後ノ處置デアリマス。此事願トナリテハ本案ヨリ仕方ナシト思フ。

陸軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

長期戦ニ入ルニ於テハ唯今ノ話ノ通リ困難ナル場合アリ。諸戦ハ然ラン。長期ニハ若干ノ不安アリ。然シ此ノ不安アリトテ現在ノ如ク米カ爲スカ儘ノコトヲサセテドウナルカ。二年後ニ軍事上ノ油カナクナル。結ハ動カス、南西太平洋ノ防備強化、米艦隊ノ増加、支那事變未完等ニ思ヲ及ホセハ思半ニ過クルモノアリ。國内亦民衆苦痛ト稱シテモ長年月之カ出來ルカ、日清戦役トハ異ヲ異ニスル。庶シテ二、三年ヲ過セハ三等國トナルコトヲ願念ス。之レト此案トヲ比較シタ場合ニ就キ慎重ナル研究ノ結果本案ニナツタノデアリマス。之レニ就テハ議長ノ考モ同様ナルヘシ

日本標準規格 B—4

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

次ニ開戦ノ結果人種戦ニハナラヌ様ニ施策シヨウト考ヘテ居ル。南方武力戦ノ成果ヲ利導シテ蘭伊ヲ利用シテ蘭英蘭米ノ講和等ヲ避ケル様ニシタイト思フ。米國民ノ感情モ御既ノ通リト存スルノデ、大イニ注意ヲ加ヘ度。大義名分戦争名義ヲ何處ニ求ムカトニ就テハ英米カ日本ノ生存ヲ脅威シテ居ル等ヲ闡明スルコトニヨリ若干ノキキメハアルヘシ。又占領地ノ統治ニ就テ公明ニスレハ又講和ハ出来ルナラン。一時ハ敵昂シテモ後ニハナホルト思フ。何レニシテモ人種戦ニナラヌ様ニ十分注意シタシ

御質問 何カ外ニ御意見アリマセンカ

陸軍

16-329

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

御意見ナケレハ原案可決ト認メマス

日本工業規格 B—4

0666

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp